

猪瀬直樹東京都知事が徳州会グループから資金提供を受けた問題の真相解明を求める要望書

猪瀬都知事が、1年前の都知事選の直前に、医療法人徳洲会グループから5000万円の資金提供を受けていたことを認めた。

知事は、「選挙資金ではない。個人の借り入れだ」と弁明し、後日、現金授受の際に記入したとする借用証を公開した。この借用証が本物であるとしても、借用証だけでは、「選挙資金でない」という都知事の主張が証明されたとは言えない。

今回の資金提供は、政治資金規正法や公職選挙法に照らしての疑惑にとどまらない。知事として、提出が義務付けられている資産報告書に提供された資金が記載されていなかったことは、知事自ら資産等の公開に関する都条例に違反していたことになる。

徳洲会グループには、過去5年間に約8億5000万円の補助金が出ている。都の一般職員が職務上の利害関係がある業者から借金をすれば、懲戒処分の対象になる。都政全般に職務権限が及ぶ知事や副知事が、一般職員以上に襟を正さなければならないのは当然である。

よって、千代田区議会は、都議会に対し、猪瀬都知事が資金提供を受けていた問題の真相を徹底して解明することを強く要望するものである。

平成25年12月6日

千代田区議会議長

嶋崎 秀彦

東京都議会議長 あて